

1.	③	11.	②	21.	④	31.	②	41.	①
2.	④	12.	②	22.	③	32.	①	42.	③
3.	①	13.	③	23.	④	33.	④	43.	③
4.	②	14.	②	24.	②	34.	④	44.	④
5.	②	15.	③	25.	①	35.	②	45.	①
6.	①	16.	③	26.	④	36.	②	46.	③
7.	②	17.	②	27.	④	37.	④	47.	②
8.	③	18.	③	28.	②	38.	③	48.	①
9.	②	19.	④	29.	①	39.	④	49.	④
10.	②	20.	①	30.	③	40.	④	50.	①

1.

解答 ③

【解説】

正解は③**employ**です。この動詞は、人を「雇う、雇用する」という意味で最もよく知られていますが、それ以外に、特定の目的のために技術、方法、時間などを「用いる、使う」というフォーマルな意味でも頻繁に使われます。これは **use** よりも硬い表現です。**The artist employs a variety of techniques.** (その芸術家は様々な技法を用いる)。①**apply** は「応用する」、②**involve** は「～を伴う」、④**achieve** は「～を達成する」という意味です。

◆補足：**employ** の「用いる」という意味は、ラテン語の **implicare** (巻き込む、関わたせる) に由来します。人を仕事に「関わたせる」のが「雇う」、物を目的に「関わたせる」のが「用いる」と考えると、二つの意味のつながりが見えてきます。名詞形は **employment** (雇用)、**employer** (雇用主)、**employee** (従業員) があり、すべて重要語です。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④「**waste**」です。名詞の「**waste**」は「廃棄物、ごみ、無駄」といった意味を持ちます。特に、工業プロセスや家庭から出る不要な物質を指す場合によく使われます。例えば、**We should try to reduce the amount of household waste.** (私たちは家庭ごみの量を減らすよう努めるべきだ。) のように用います。不正解の選択肢について、①「**treasure**」は「宝物」、②「**resource**」は「資源」、③「**product**」は「製品」という意味であり、いずれも価値のあるものを指す言葉で、「廃棄物」とは逆の意味合いを持つため誤りです。

◆補足：「waste」は動詞としても使われ、「～を無駄にする、浪費する」という意味になります（例：waste time - 時間を無駄にする, waste money - お金を無駄にする）。名詞の「waste」は、文脈によって「industrial waste」（産業廃棄物）や「nuclear waste」（核廃棄物）のように具体的な種類を指すこともあります。熟語「go to waste」は「無駄になる」という意味です（例：Don't let your talent go to waste. - あなたの才能を無駄にしてはいけません）。語源はラテン語の「vastus」（空の、荒廃した）に由来し、「価値のないもの」というイメージが中心にあります。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「残り物」です。leftover は、主に食事の食べ残しや、パーティーなどで余った料理を指す際に使われる名詞です。形容詞としても使うことができ、その場合は leftover food（残り物の食べ物）のように後ろに名詞を伴います。leave（～を残す）と over（～の上に、余って）が組み合わさった単語だと考えると意味を推測しやすいでしょう。②「忘れ物」は a lost item、③「お土産」は a souvenir、④「試作品」は a prototype がそれぞれ適切な英語表現です。

◆補足：leftover は複数形の leftovers として使われることが非常に多いです。例: I had leftovers for lunch.（昼食に残り物を食べた）。類義語として remains がありますが、こちらはより広範な「残り、遺跡、遺体」などを指し、特に食事の残り物に対しては leftovers を使うのが一般的です。remains of the meal のように言うことは可能ですが、日常会話では leftovers が好まれます。

4.

解答 ②

【解説】

正解は②convert です。この動詞は、ある物を別の形態や用途に変えたり、人の意見や宗教を「転換させる、改宗させる」といった意味で使われます。convert A into B の形で「A を B に変える」という使い方が基本です。例：The factory converts raw materials into finished products.（その工場は原料を完成品に変える）。①convey は「～を運ぶ、伝える」、③consist は「(of～で) ～から成る」、④confirm は「～を確認する」という意味です。

◆補足：convert の語源は、ラテン語の con-（共に、完全に）と vertere（向きを変える）で、「完全に向きを変える」ことが元の意味です。名詞形は conversion（転換）です。類義語の change は最も一般的な「変える」ですが、convert は、形や機能、性質などが根本的に変わる、というニュアンスが強いです。

5.

解答 ②

【解説】

正解は②「資源」です。resource は、国や人の富、あるいは何かを達成するために利用できる物や資質を指します。通常は複数形の resources で使われることが多く、natural resources（天然資源）や human resources（人的資源、人事部）といった形で頻繁に登場します。①「供給源」を意味する source と混同しないように注意が必要です。「資源」は利用可能な物そのものを指し、「供給源」はそれが出てくる源泉を指します。③「研究」は research、④「結果」は result です。

◆補足：resource の語源は、古フランス語で「再び立ち上がる」を意味する言葉に由来し、「困難な状況から回復するための手段」というニュアンスがありました。これが現在の「何かを行う助けとなるもの」→「資源、資金、方策」という意味に繋がっています。形容詞 resourceful は「機知に富んだ、やりくりのうまい」という意味の重要な派生語です。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①be eager to do です。eager は「熱心な」という意味の形容詞で、この表現は、何かをしたいという強い欲求や期待感を持っていることを表します。「熱望している」というニュアンスです。She is eager to hear the results.（彼女はその結果をしきりに聞きたがっている）。②be likely to do は「～しそうである」、③be willing to do は「進んで～する、～するのをいとわない」、④be able to do は「～することができる」という意味です。

◆補足：be eager for ~の形で、後ろに名詞を置くこともできます。例：be eager for success（成功を熱望している）。類義語の be anxious to do も「～したがっている」と訳せますが、anxious には「心配でそわそわしながら待つ」という不安のニュアンスが含まれることがあります。一方、eager は純粋な期待感や熱意を表します。

7.

解答 ②

【解説】

正解は②latitude です。地理的な位置を示す「緯度」を意味します。①longitude は「経度」で、latitude とセットで覚えるべき単語です。③altitude は海拔などの「高度、標高」を意味します。④attitude は「態度、姿勢」です。これらの単語は形が似ており混同しやすいため、意味を正確に区別することが重要です。

◆補足：latitude はラテン語で「幅」を意味する latus に由来します。昔の地図が横に広がったことから、横の線である緯度を指すようになったと言われています。一方、longitude は「長さ」を意味する longus に由来し、縦の線である経度を指します。high latitudes で「高緯度地帯」を意味します。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③specialist です。この単語は、ある特定の主題や活動分野における「専門家、専門医」を指します。形容詞 special (特別な) の関連語です。He is a specialist in computer security. (彼はコンピュータセキュリティの専門家だ)。①scientist は「科学者」で、専門家の一種ではありますが、より限定的です。②tourist は「観光客」、④journalist は「ジャーナリスト」という意味です。

◆補足：specialist は、specialize in ~ (～を専門にする) という動詞から派生しています。類義語に expert がありますが、specialist が特定の分野に「特化している」ことを強調するのに対し、expert はその分野で高度な技術や知識を持つ「熟練者」であることを強調するニュアンスがあります。多くの場合、互換的に使えます。

9.

解答 ②

【解説】

正解は②extra です。「通常のものに加えて、余分にある」というニュアンスを持つ形容詞です。extra charge (追加料金) や extra homework (追加の宿題) のように、名詞を修飾する形で使われます。また、「割増料金で」という意味の副詞としても機能します。①former は「以前の、元の」、③major は「主要な、重大な」、④regular は「通常の、規則的な」という意味で、いずれも文脈に合いません。

◆補足：extra の語源は、ラテン語で「～の外側に」を意味する extra-に由来します。これが「通常の範囲を超えた」という意味につながっています。類義語に additional がありますが、extra が「余分、おまけ」といったニュアンスを含むことがあるのに対し、additional はより中立的に「追加の」という意味で使われることが多いです。例えば、additional information (追加情報) のように、フォーマルな文脈で好まれます。

10.

解答 ②

【解説】

正解は②「直接に」です。directly は、仲介物や遠回りをせずに、物事が行われる様子を表す副詞です。Please contact me directly. (私に直接連絡してください) のように使います。また、「まっすぐに」や「ちょうど」という意味で使われることもあります。①「ほとんど」は almost、③「特に」は especially や particularly、④「最近」は recently や lately がそれぞれ対応する単語です。

◆補足：directly は形容詞 direct (直接の) の副詞形です。direct は direct flight (直行便) や direct contact (直接の接触) のように使われます。directly には「すぐに、間もなく」という意味もあり、特にイギリス英語でよく使われます (例: I'll be there directly.). 類義語の straight は物理的に「まっすぐに」という場合に多く使われますが (例: go straight)、directly はより抽象的な「直接」という関係性を表すのに適しています。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②「(生ごみを含む) ごみ」です。garbage は、特にアメリカ英語において、台所から出る生ごみ (food scraps) を含む家庭ごみ全般を指す言葉として広く使われます。ごみ収集車は garbage truck、ごみ箱は garbage can と言います。①「資源ごみ」は recyclables、③「産業廃棄物」は industrial waste が一般的です。④「がらくた」は junk にあたり、壊れた家具や使わなくなった電化製品など、雑多で価値のない物を指します。

◆補足: 「ごみ」を表す英単語は地域や種類によって使い分けられます。アメリカ英語では garbage (主に生ごみ)、trash (紙くずなど乾いたごみ)、rubbish (あまり使われない) が代表的です。一方、イギリス英語では rubbish が家庭ごみ全般を指す最も一般的な言葉で、garbage はあまり使われません。また、屋外の公共の場にあるごみは litter と呼びます。これらの違いを理解しておくと、より自然な英語表現が可能になります。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「警報 (器)、目覚まし時計」です。alarm は、危険を知らせるための「警報」や、そのための装置である「警報器」を指します。a fire alarm (火災報知器) がその例です。また、朝起きるための「目覚まし時計」も an alarm clock、あるいは単に alarm と言います。①「腕」は arm、③「魅力」は charm、④「農場」は farm です。

◆補足: alarm は名詞の他に、「(突然の危険に対する) 不安、恐れ」という意味も持ちます。動詞としては「～を不安にさせる、ぎょっとさせる」という意味で使われます。例: The news alarmed everyone. (そのニュースは皆を不安にさせた)。形容詞形は alarming (不安にさせるような) です。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③「申し込み」です。application は文脈によって「応用」「アプリケーション (アプリ)」「塗布」など様々な意味を持ちますが、fill out the application form (申込用紙に記入する) という表現では「申し込み」や「申請」を意味します。この文脈は、ソフトウェアの使用登録やサービスへの加入など、ビジネスや公的な手続きで頻繁に登場します。①「応用」も application の重要な意味ですが、この文脈には合いません。②「器具」は appliance との混同を狙った選択肢です。④「説明」は explanation にあたります。

◆補足：application は動詞 apply の名詞形です。apply for ~（～に申し込む）と apply A to B（A を B に応用する・適用する）の二つの主要な使い方を覚えておくと、名詞 application の意味も理解しやすくなります。例えば the application of new technology は「新技術の応用」となります。また、スマートフォンの「アプリ」も application software の略で、特定の目的のために「応用」されたソフトウェアという意味合いが含まれています。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②advanced です。この形容詞は、動詞 advance（進む、進歩させる）の過去分詞から来ており、「(他より) 進んだ」状態を表します。advanced technology（先進技術）のように「高度な、先進的な」という意味や、an advanced course（上級コース）のように「上級の」という意味で使われます。①adventurous は「冒険的な」、③advantageous は「有利な」、④aggressive は「攻撃的な」という意味です。

◆補足：advance は名詞としても「進歩、前進」という意味を持ちます。in advance で「前もって、あらかじめ」という重要な熟語になります。advanced の対義語としては、レベルに関しては beginner（初級の）や intermediate（中級の）、技術に関しては basic（基本的な）や primitive（原始的な）などが考えられます。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を処理する」です。「deal with ~」は、問題や課題、困難な状況などに「対処する、対応する、を処理する」という意味で非常に広く使われる句動詞です。また、人や物事を「扱う、テーマにする」という意味でも使われます。例文：As a manager, you have to deal with various problems every day.（管理者として、あなたは毎日様々な問題に対処しなければならない。）のように使います。①「～を無視する」(ignore)、②「～を避ける」(avoid)、④「～を歓迎する」(welcome) は、いずれも問題への向き合い方として「処理する」とは異なるアプローチを示すため不正解です。

◆補足：「deal with ~」は非常に汎用性の高い表現です。類義語に「handle ~」や「cope with ~」があります。「handle ~」は具体的な物や仕事を「扱う、処理する」ニュアンスが強いです。「cope with ~」は、精神的なプレッシャーや困難な状況に「うまく対処する、何とか乗り切る」というニュアンスで使われることが多いです。「deal」自体は名詞で「取引」や「量」、動詞で「(カードを) 配る」などの意味も持ちます。A big deal（一大事）、It's a deal.（取引成立だ）といった表現も重要です。

16.

解答 ③**【解説】**

正解は③stress です。この単語は名詞として「精神的圧力、ストレス」という意味でよく知られていますが、動詞としては「～を強調する、力説する」という意味で頻繁に使われます。He stressed the importance of teamwork. (彼はチームワークの重要性を強調した) のように用います。また、「～に圧力をかけて緊張させる」という元の意味も持ちます。①stretch は「～を伸ばす」、②struggle は「奮闘する、もがく」、④strike は「～を打つ」という意味です。

◆補足：動詞の stress は「強調する」という意味で emphasize とほぼ同義ですが、stress の方がより「重要だから力説する」というニュアンスが強い場合があります。名詞としては、精神的な「ストレス」の他に、物理的な「圧力、応力」や、言語学における「アクセント、強勢」という意味もあります。lay stress on ~または put stress on ~で「～を強調する」という熟語表現も重要です。

17.

解答 ②**【解説】**

正解は②give away です。この句動詞は、持っている物を誰かに「無料で譲る、寄付する」という意味で使われます。She gave away all her old clothes. (彼女は古い服をすべて人にあげた)。away には「手元から離れてどこかへ」というニュアンスがあります。①give up は「～をあきらめる」、③give in は「降参する、屈服する」、④give back は「～を返す」という意味で、それぞれ give を使った重要な句動詞ですが、文脈に合いません。

◆補足：give away には、他に「(秘密などを) うっかり漏らす、暴露する」という意味もあります。

例：Don't give away the ending of the movie. (映画の結末をばらさないで)。この場合は、秘密が自分の元から「離れていってしまう」というイメージで捉えると分かりやすいでしょう。

18.

解答 ③**【解説】**

正解は③adjust です。この動詞は、機械のつまみ、椅子の高さ、計画などを少しだけ変更して「調節する、調整する」という意味で使われます。また、新しい環境や状況に「順応する、慣れる」という意味でも使われ、その場合は adjust to ~の形をとります。You need to adjust the mirror. (ミラーを調節する必要がある)。①adopt は「～を採用する」、②admit は「～を認める」、④admire は「～に感心する」という意味です。

◆補足：adjust の名詞形は adjustment (調節、調整) です。語源は、ラテン語の ad- (～の方へ) と juxta (近くに) で、「ちょうど良いところへ合わせる」というイメージです。類義語の adapt は、環境などに合わせて根本的に「適合させる、適応する」というニュアンスが強いのに対し、adjust はより小さな「微調整」を表すことが多いです。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④inventor です。この単語は、動詞 invent（～を発明する）に、人を表す接尾辞-or がついた形で、「発明家」を意味します。Thomas Edison is a famous inventor.（トーマス・エジソンは有名な発明家だ）。①investor は「投資家」、②inspector は「検査官」、③instructor は「指導員、インストラクター」という意味で、いずれもスペルが似ているので注意が必要です。

◆補足：invent（発明する）の名詞形には inventor（人）の他に、invention（発明、発明品）があります。よく似た動詞 discover（発見する）との違いも重要です。discover は既に存在していたものを見つけ出すこと、invent はそれまで存在しなかったものを新たに作り出すことを指します。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「質、品質」です。quality は、物やサービスの良し悪しの度合い、すなわち「質、品質」を意味します。high-quality products（高品質の製品）のように使われます。②「量」は quantity で、quality とは対義語の関係にあり、セットで覚えることが重要です。③「平等」は equality、④「資格」は qualification が適切な単語です。

◆補足：quality は、文脈によっては人の「質、特質、人柄」という意味でも使われます。例：Leadership is an important quality for a manager.（指導力は管理職にとって重要な資質だ）。quality control（品質管理）や quality of life（生活の質）などの複合語もよく使われます。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④「太陽の」です。solar は、太陽に関する、または太陽から来るエネルギーを利用した、という意味の形容詞です。solar energy（太陽エネルギー）や the solar system（太陽系）といった表現でよく使われます。①「固体の」は solid、②「類似した」は similar、③「単独の」は solo が適切な単語です。

◆補足：solar の語源は、ラテン語で「太陽」を意味する sol です。ここから派生した単語だと考えると覚えやすいでしょう。近年、環境問題への関心の高まりから solar power（太陽光発電）や solar panels（ソーラーパネル）といった語がニュースなどで頻繁に使われています。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③「故障した」です。句動詞 **break down** は複数の意味を持ちますが、この文脈のように機械や乗り物が主語の場合、「故障する、動かなくなる」という意味で最もよく使われます。**My computer has broken down again.**（私のパソコンがまた故障した）のように使います。①「侵入した」は **break in**、②「(戦争や火事が) 発生した」は **break out**、④「分解した」も **break down** の意味の一つですが、この文脈では不自然です。

◆補足：**break down** は文脈によって様々な意味に変化します。①「(機械などが) 故障する」、②「(物質を) 分解する」(例: **break down food** 食物を分解する)、③「(交渉などが) 決裂する」(例: **The talks broke down.**)、④「(感情的に) 取り乱す、泣き崩れる」(例: **She broke down in tears.**)、⑤「(項目別に) 分析する、内訳を示す」(例: **break down the costs** 費用を分析する) など、多義的なので注意が必要です。それぞれの意味を例文と共に覚えることが重要です。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「化学物質」です。**chemical** は、形容詞として「化学の、化学的な」という意味が基本ですが、名詞として「化学物質、化学製品」という意味でも非常によく使われます。**harmful chemicals**（有害な化学物質）のように、通常は可算名詞として扱われます。①「肉体的な」と③「臨床の」は形容詞であり、それぞれ **physical, clinical** です。②「機械」は **machine** です。

◆補足：**chemical** は、**chemistry**（化学）という学問から派生した言葉です。**chemist** は「化学者」の他に、イギリス英語では「薬剤師」や「薬局」を意味することもあります。**chemical reaction**（化学反応）や **chemical weapon**（化学兵器）など、様々な複合語で使われます。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②**look into** です。この句動詞は、問題、苦情、事件、可能性などを「詳しく調査する、検討する」という意味で使われます。**into**（～の中へ）という前置詞から、「内部を覗き込むようにして詳しく調べる」イメージを持つと覚えやすいでしょう。**The police are looking into the cause of the accident.**（警察はその事故の原因を調査している）。①**look after** は「～の世話をする」、③**look over** は「～にざっと目を通す」、④**look for** は「～を探す」という意味です。

◆補足：**look into** ～の類義語に **investigate** があります。**investigate** はよりフォーマルで、警察や専門家が公式に「捜査・調査する」というニュアンスが強い単語です。日常的な場面で「ちょっと調べてみ

るね」というような場合は **look into** がよく使われます。**check** も「調べる」という意味ですが、**look into** ほどの深掘りのニュアンスはなく、事実確認程度の意味合いで使われることが多いです。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「～によれば」です。「**according to** ～」は、情報源や根拠を示す際に用いられる非常に重要な前置詞句です。天気予報、ニュース記事、専門家の意見などを引用するときによく使われます。例文：**According to the weather forecast, it will rain tomorrow.**（天気予報によれば、明日は雨が降るでしょう。）のように使います。②「～にもかかわらず」は「**despite** ～」や「**in spite of** ～」、③「～の代わりに」は「**instead of** ～」、④「～に加えて」は「**in addition to** ～」がそれぞれ対応する表現であり、文脈に合わないため不正解です。

◆**補足**：「**according to** ～」は、客観的な情報源を引用する場合に使うのが一般的です。注意点として、自分の意見を述べるときに“**According to me,**” や “**According to my opinion,**” という表現は通常使いません。これは不自然に聞こえ、代わりに“**In my opinion,**” や “**I think that...**” を使うのが一般的です。「**according**」は動詞「**accord**」（一致する、調和する）に由来しており、「～と一致して、～に従って」というのが元々の意味合いです。そこから「情報源によれば」という意味に発展しました。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④「タンパク質」です。**protein** は、体を作る上で重要な三大栄養素の一つである「タンパク質」を指します。肉、魚、卵、豆類などに多く含まれています。**This drink is high in protein.**（この飲み物はタンパク質が豊富だ）。①「ビタミン」は **vitamin**、②「炭水化物」は **carbohydrate**、③「脂肪」は **fat** がそれぞれ対応する単語です。これらは健康に関する英文で頻出する語彙なので、セットで覚えておくと良いでしょう。

◆**補足**：**protein** の語源は、ギリシャ語で「第一のもの、最も重要な」を意味する **proteios** に由来します。これは、タンパク質が生命にとって不可欠な最も重要な栄養素であると考えられていたためです。**a high-protein diet**（高タンパク食）や **protein shake**（プロテインシェイク）などの形でよく使われます。不可算名詞として扱われるのが基本ですが、種類を言う場合は可算名詞になることもあります。

27.

解答 ④

【解説】

正解は④「コンピュータの機能を多く備えた携帯電話」です。smartphone は、従来の携帯電話（feature phone や cell phone）の通話機能に加え、インターネット接続、メール、アプリケーションの利用など、パソコンのような多様な機能を持つ携帯端末を指します。smart（賢い）という単語が使われているのは、単なる電話機ではなく、多機能で知的なデバイスであることを示唆しています。他の選択肢は、①家庭用ロボット、②コードレス電話、③携帯ゲーム機を指しており、smartphone の定義とは異なります。

◆補足：smartphone という言葉が普及する前は、PDA（Personal Digital Assistant、個人用携帯情報端末）といったデバイスが存在しました。smartphone は、この PDA の機能と携帯電話の機能が融合して発展したものです。対義語としては、基本的な通話やメール機能に限定された携帯電話を feature phone（フィーチャーフォン、日本では「ガラケー」）と呼びます。

28.

解答 ②

【解説】

正解は②「影響、衝撃」です。impact は、ある物事が他の物事に与える強い「影響、効果」や、物がぶつかったときの物理的な「衝撃、衝突」を意味します。have an impact on ~の形で「～に影響を与える」と表現します。The new law will have a significant impact on our economy.（新しい法律は我々の経済に大きな影響を与えるだろう）。①「輸入」は import、③「衝動」は impulse、④「印象」は impression です。

◆補足：impact は類義語の effect や influence よりも、より強力で直接的な「影響、衝撃」というニュアンスを持ちます。動詞としても「～に影響を与える」という意味で使われますが、アクセントの位置が後ろに移動し/ɪmp'ækt/となる点に注意が必要です。ただし、動詞としては affectの方がより一般的に使われます。

29.

解答 ①

【解説】

正解は①「むだに」です。in vain は、努力や試みが期待した結果をもたらさず、「むだに、効果なく」終わったことを示す副詞句です。All our efforts were in vain.（我々の努力はすべてむだになった）。

②「要するに」は in short、③「詳細に」は in detail、④「事前に」は in advance が適切な表現です。

◆補足：vain という単語は、単独では「うぬぼれの強い、虚栄心の強い」という意味の形容詞として使われることが多いです。in vain の vain は、古い意味での「中身のない、空虚な」というニュアンスから来ています。ラテン語の vanus（空の）が語源です。vanish（消える）と関連があります。

30.

解答 ③**【解説】**

正解は③moisture です。この単語は、空気中に含まれる水蒸気や、物の表面にある細かい水滴などの「水分、湿気、水気」を指す不可算名詞です。This cream helps your skin retain moisture. (このクリームは肌の水分を保つのに役立ちます)。①mixture は「混合物」、②posture は「姿勢」、④creature は「生き物」という意味です。

◆補足：moisture の形容詞形は moist (湿った、潤いのある) です。動詞形は moisten (～を湿らせる)、名詞形として moisturizer (保湿クリーム) もあります。よく似た単語に humidity がありますが、humidity が主に空気中の「湿度」という科学的な指標を指すのに対し、moisture はより一般的な「水分、湿り気」を指します。

31.

解答 ②**【解説】**

正解は②「～を生産する」です。「produce」は、工場で製品を作ったり、農場で農作物を作ったりするなど、何かを「生み出す、生産する、製造する」という意味で広く使われる動詞です。例文：This factory produces more than 1,000 cars a day. (この工場は 1 日に 1000 台以上の車を生産している。) のように用います。①「～を消費する」(consume)、③「～を輸入する」(import)、④「～を破壊する」(destroy) は、いずれも「生産する」とは逆の、または関連性の低い意味を持つため不正解となります。

◆補足：動詞「produce」は、アクセントが「pro-DUCE」のように後ろに置かれます。一方、同じ綴りの名詞「produce」は、アクセントが「PRO-duce」のように前に置かれ、「農産物」という意味になります (不可算名詞)。例えば、We buy fresh produce at the local market. (私たちは地元の市場で新鮮な農産物を買います。) のように使います。このアクセントの違いによる品詞と意味の変化は非常に重要なので、必ず覚えておきましょう。派生語には「product」(製品)、「production」(生産)、「producer」(生産者) などがあります。

32.

解答 ①**【解説】**

正解は①efficient です。この形容詞は、最小限の資源 (時間、労力、お金など) で最大の結果を生み出すような「効率的な、能率的な」状態を表します。an efficient way to study (効率的な勉強法) や an energy-efficient appliance (省エネ家電) のように使います。②sufficient は「十分な」、③frequent は「頻繁な」、④excellent は「優れた」という意味です。特に sufficient とは形が似ているので混同しないよう注意が必要です。

◆補足：efficient の名詞形は efficiency（効率、能率）です。よく似た単語に effective（効果的な）がありますが、ニュアンスが異なります。efficient は「プロセス」の無駄のなさに焦点を当ててるのに対し、effective は「結果」が意図通りに出たかどうかに焦点を当てます。例えば、時間をかけても目標を達成できれば effective ですが、efficient とは言えないかもしれません。この二つの違いは重要です。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④「急いで行く、大急ぎです」です。rush は、普通よりも速いスピードで移動したり、何かをしたりすることを意味します。「突進する」というニュアンスもあります。I rushed to catch the last train.（私は終電に間に合うよう急いだ）。①「こする」は rub、②「押す」は push、③「引く」は pull です。

◆補足：rush は名詞として「殺到、大急ぎ」という意味も持ちます。朝夕の通勤・通学ラッシュは the morning/evening rush または rush hour と言います。in a rush で「急いでいる」状態を表します。類義語の hurry も「急ぐ」ですが、rush はより強引で、周りが見えなくなっているような「猛進」のイメージを伴うことがあります。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④「効果、影響」です。effect は、ある行動や原因によってもたらされる「結果、効果、影響」を意味する名詞です。have an effect on ~（～に影響を与える）という形で頻繁に使われます。His speech had a great effect on the audience.（彼のスピーチは聴衆に大きな影響を与えた）。①「努力」は effort、②「欠点」は defect、③「事実」は fact です。

◆補足：effect（名詞）と affect（動詞）の混同は非常によくある間違いです。affect は「～に影響を与える」という動詞、effect はその「影響、効果」という名詞、と覚えておきましょう。（例外的に effect が「～をもたらす」という硬い動詞として使われることもあります）。side effect（副作用）や cause and effect（原因と結果、因果関係）といった複合語も重要です。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②「偶然に、誤って」です。accidentally は、意図したわけではなく、偶然または間違いによって何かが起こったことを示す副詞です。I accidentally broke my mother's favorite vase.（私は誤って

母のお気に入りの花瓶を割ってしまった)。①「意図的に」は対義語の **intentionally** や **on purpose** です。③「実際に」は **actually**、④「追加的に」は **additionally** が適切な単語です。

◆補足：**accidentally** は、名詞 **accident**（事故、偶然の出来事）の副詞形です。**by accident** という前置詞句も「偶然に」という意味で **accidentally** とほぼ同じように使えます。**accident** の語源は、ラテン語の **ad-**（～へ）と **cadere**（落ちる）で、「身に降りかかる出来事」というのが元の意味です。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「～に気づいている」です。**conscious** は、「意識がある、正気の」という意味の他に、**be conscious of ~** の形で「～に気づいている、～を意識している」という意味で頻繁に使われます。例文は「彼はその危険に気づいていなかった」となります。①「良心的な」は **conscientious** で、形が似ているため注意が必要です。③「心配している」は **concerned**、④「自信がある」は **confident** が適切です。

◆補足：**conscious** の語源は、ラテン語の **con-**（共に）と **scire**（知る）で、「共に知っている」→「自覚している」というのが元の意味です。**science**（科学）と同じ語源です。名詞形は **consciousness**（意識）。類義語の **aware** も「気づいている」という意味ですが、**aware** が外部の状況に気づくことを指すのに対し、**conscious** は自分自身の内部の状態や考えを意識しているニュアンスで使われることが多いです。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④**float** です。この動詞は、液体や気体の表面、あるいはその中に「浮く、浮かぶ、漂う」ことを意味します。**A leaf was floating on the water.**（木の葉が水面に浮かんでいた）。①**flow** は、川の水などが「流れる」ことを意味します。②**sink** は「沈む」という **float** の対義語です。③**flee** は「（危険などから）逃げる」という意味です。

◆補足：**float** は自動詞として「浮く」という意味で使われるのが基本ですが、他動詞として「～を浮かべる」という意味でも使えます。例：**float a boat**（ボートを浮かべる）。また、名詞としてはパレードの「山車（だし）」や、飲み物の上に浮かべたアイスクリームなどを指すこともあります。金融の文脈では「（通貨などを）変動相場制にする」といった意味もあります。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③**oppose** です。この動詞は、計画、法律、意見などに同意せず、積極的に「反対する」ことを意味します。Many people opposed the plan. (多くの人々がその計画に反対した)。①**suppose** は「～だと思う、仮定する」、②**propose** は「～を提案する」、④**expose** は「～をさらす」という意味で、いずれも **oppose** と形が似ているので注意が必要です。

◆**補足**：**oppose** の語源は、ラテン語の **ob-** (反対して) と **ponere** (置く) で、「反対の場所に置く」というのが元の意味です。名詞形は **opposition** (反対、対立)、形容詞形は **opposite** (反対の) です。受動態の **be opposed to** ~ (～に反対している) という形も非常によく使われます。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「徐々に」です。**by degrees** は、物事が少しずつ、段階的に進む様子を表す熟語です。The sky grew darker by degrees. (空は徐々に暗くなっていった)。**degree** は「程度、度」という意味ですが、この熟語では「段階」のニュアンスで使われています。①「様々な程度で」は **to varying degrees**、③「ある程度は」は **to some degree** という表現が近いです。②「急に」は対義語の **suddenly** です。

◆**補足**：**by degrees** は **gradually** や **little by little** とほぼ同じ意味で使えますが、**by degrees** の方がややフォーマルで文語的な響きがあります。「段階を経て一步步」というイメージを持つと覚えやすいでしょう。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④「サンゴ」です。**coral** は、海中に生息する「サンゴ」や、その骨格から作られる宝石を指す名詞です。**coral reef** (サンゴ礁) という複合語は、環境問題の文脈で非常によく出てくるので必ず覚えましょう。①「合唱団」は **choir** です。形容詞の **choral** (合唱の) は **coral** と発音が似ているので注意が必要です。②「道徳的な」は **moral**、③「中心的な」は **central** が適切な単語です。

◆**補足**：**coral** は、サンゴの群体全体を指す場合は不可算名詞、個々のサンゴや種類を指す場合は可算名詞として扱われます。また、**coral** は「サンゴ色 (ピンクがかったオレンジ色)」を指す形容詞としても使われます。**coral bleaching** (サンゴの白化現象) も、地球温暖化に関連する重要な用語です。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①**throw away** です。不要になった物をごみとして「捨てる、廃棄する」という意味で最も一般的に使われる句動詞です。**throw**（投げる）と **away**（離れて）の組み合わせで、手元から離れた場所へ投げるイメージを持つと覚えやすいでしょう。②**put away** は「(元の場所へ) 片付ける」、③**give away** は「～を無料で譲る、景品として配る」、④**pass away** は **die** の婉曲表現で「亡くなる」を意味します。

◆**補足**：「捨てる」を意味する類義語には **discard** や **dispose of** があります。**discard** は **throw away** とほぼ同じ意味で使えますが、ややフォーマルな響きがあります。**dispose of** はさらにフォーマルで、特に法律や規則に従って「処理・処分する」というニュアンスで使われることが多いです。例: **dispose of hazardous waste**（有害廃棄物を処分する）。日常会話では **throw away** が最も一般的です。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③**release** です。この動詞は、もともと「～を解放する、自由にする」という意味が中核にありますが、そこから派生して、映画、本、CD、ソフトウェアなどの新製品を「発売する」、あるいは情報や声明を「発表する、公開する」という意味で非常によく使われます。名詞としても「発売、発表」という意味で使われます。①**realize** は「～を悟る、理解する」、②**reduce** は「～を減らす」、④**receive** は「～を受け取る」という意味です。

◆**補足**：**release** の基本的な意味は「(押さえつけられていたものを) 解き放つ」ことです。**release a prisoner**（囚人を解放する）、**release stress**（ストレスを発散する）などが元の意味に近い用法です。これが、情報や製品が「世に放たれる」というニュアンスで「発表・発売」という意味で使われるようになりました。類義語の **publish** は本や記事などを「出版する、掲載する」という場合に、**launch** は新製品や新事業を大々的に「開始する、市場に出す」というニュアンスで使われます。

43.

解答 ③

【解説】

正解は③**search** です。この動詞は、失くしたものや欲しい情報などを見つけるために、場所などを徹底的に「探す、検索する」ことを意味します。**search A for B**（B を求めて A を探す）の形でよく使われます。**Police searched the house for clues.**（警察は手がかりを求めてその家を搜索した）。①**serve** は「～に仕える」、②**settle** は「解決する、定住する」、④**seize** は「(ぐいっと) つかむ」という意味です。

◆**補足**：**search for** ~で「～を捜し求める」という自動詞の用法も重要です。**look for** ~も「～を探す」ですが、**search** の方がより注意深く、広範囲にわたって探すというニュアンスがあります。名詞としても「搜索、検索」という意味で使われます。**a search engine**（検索エンジン）など。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④**distribute**です。この動詞は、食料、情報、商品などを多くの人々や場所へ「分配する、配布する、流通させる」ことを意味します。The organization distributed food to the needy. (その組織は困窮している人々に食料を配布した)。①**contribute**は「貢献する」、②**describe**は「～を描写する」、③**destroy**は「～を破壊する」という意味です。

◆**補足**：**distribute**の名詞形は**distribution**（分配、流通）です。語源はラテン語のdis-（離れて）とtribuere（与える）に由来し、「分けて与える」というのが元の意味です。**contribute**はcon-（共に）がつくため「共に与える→貢献する」となり、対比して覚えると効果的です。**hand out**も「配布する」という意味の句動詞ですが、**distribute**の方がより広範囲に、計画的に配布するニュアンスがあり、フォーマルな響きを持ちます。

45.

解答 ①

【解説】

正解は①「うまくいく」です。句動詞**work out**は多くの意味を持ちますが、この例文のように自動詞として使われる場合、「(問題などが) 解決する、うまくいく」という意味になります。**in the end**（最後には）という表現と共によく使われます。②「運動する」や③「～を計算する」も**work out**の重要な意味ですが、この文脈には合いません。④「外で働く」は**work outside**となります。

◆**補足**：**work out**の多義性を整理しましょう。①（問題が）解決する、うまくいく：Things worked out well. ②（計画・答えなど）を考え出す、計算する：work out a solution / work out the total cost. ③運動する、トレーニングする：I work out at the gym. ④（合計が）～になる：The bill works out to \$50.。文脈に応じてどの意味かを判断する練習が重要です。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③**absorb**です。この動詞は、液体、光、熱、音などを物理的に「吸収する」という意味で広く使われます。A sponge absorbs water. (スポンジは水を吸収する)。また、比喩的に知識や情報を「吸収する、理解する」という意味や、会社などを「合併吸収する」という意味もあります。①**observe**は「～を観察する」、②**oppose**は「～に反対する」、④**obtain**は「～を得る」という意味です。

◆**補足**：**absorb**の名詞形は**absorption**（吸収）です。**be absorbed in**～という受動態の形で「～に夢中になっている、没頭している」という意味になる用法も非常に重要です。例：He was completely absorbed in the book. (彼はその本に完全に没頭していた)。語源はラテン語のab-（離れて）とsorbere（吸い込む）に由来します。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を提案する」です。propose は、会議などで計画や考えを正式に「提案する」という意味で使われます。I propose that we start the meeting. (会議を始めることを提案します)。①「～を所有する」は possess、③「～を準備する」は prepare、④「～を処理する」は process です。

◆補足：propose は、suggest よりもフォーマルな響きを持つ単語です。また、結婚を「申し込む、プロポーズする」という意味も重要です。例：He proposed to her. (彼は彼女にプロポーズした)。名詞形は proposal で、「提案」や「結婚の申し込み」を意味します。語源はラテン語の pro- (前に) と ponere (置く) で、「前に置く」ことが元の意味です。

48.

解答 ①

【解説】

正解は①practice です。この単語は「練習」という意味で最もよく知られていますが、文脈によっては「(社会的な) 慣習、しきたり」や、医者や弁護士などの専門職の「業務、開業」という意味でも使われます。It is common practice to tip waiters in the U.S. (アメリカではウェイターにチップを渡すのが一般的な慣習だ)。②promise は「約束」、③process は「過程」、④prejudice は「偏見」という意味です。

◆補足：practice の多義性は重要です。①練習: practice makes perfect (習うより慣れよ)。②実践: put a plan into practice (計画を実行に移す)。③慣習: a local practice (地域の慣習)。④(医師・弁護士の) 業務、開業: a doctor's practice (医者 of 業務、診療所)。アメリカ英語では動詞も名詞も practice ですが、イギリス英語では名詞が practice、動詞が practise と区別されるので注意が必要です。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④「～の観点から」です。in terms of ~は、ある事柄を特定の側面や観点に限定して話を進める際に使われる非常に便利な表現です。「～の点では、～に関して」などとも訳せます。The movie was a success in terms of box-office revenue. (その映画は興行収入の点では成功だった)。①「～の代わりに」は in place of ~や instead of ~、②「～にもかかわらず」は in spite of ~、③「～の場合には」は in case of ~が適切です。

◆補足：term という単語は「期間」「学期」「専門用語」「条件」など多くの意味を持ちますが、in terms of ~の terms は「観点、点」という意味合いで使われています。物事を分析したり評価したりする硬い文章で特によく見られます。from the viewpoint of ~や from the perspective of ~も「~の観点から」と訳せますが、in terms of ~はより広い範囲で「~の点において」というニュアンスで使うことができます。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①「人工的な」です。artificial は、自然にできたものではなく、人間によって作られたものを指す形容詞です。「不自然な、見せかけの」といったネガティブなニュアンスで使われることもあります。artificial intelligence（人工知能、AI）や artificial flowers（造花）などが典型例です。②「芸術的な」は artistic で、art（芸術）から派生する単語として区別が必要です。③「公式の」は official、④「表面的な」は superficial です。

◆補足：artificial の語源は、ラテン語の ars（技術、芸術）と facere（作る）から来ており、「技術によって作られた」というのが元の意味です。対義語は natural（自然の）です。artificial sweetener（人工甘味料）や artificial light（人工の光）など、様々な名詞と結びついて使われます。
